

— 君津市 —

# 外箕輪遺跡Ⅻ

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2024

株式会社東京マルイ  
君津市教育委員会

— 君津市 —

そとみのわ  
外箕輪遺跡Ⅻ

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2024

株式会社東京マルイ  
君津市教育委員会



# 序 文

県内で2番目に広大な面積を有する君津市は房総半島のほぼ中央部に位置し、市内を流れる二大河川、小糸川・小櫃川の恩恵を受けた肥沃な水田地帯、そして山間部には緑あふれる森林地帯が広がり、豊かな自然環境に恵まれています。また、これらの豊かな市域には、多くの貴重な文化遺産が残されています。これらの文化遺産を後世へと伝えていくことが、現代に生きる私たちの重大な責務と考えます。

しかしながら、経済発展や利便化のための開発行為など現代人の働きによって、遺跡が破壊されてしまうことが多いのも実情です。このような状況のなか、開発と遺跡の保存についての解決策の一つが、事前に発掘調査を実施する「記録保存」という手段であります。

本報告書は、民間開発事業に伴い発掘調査を実施した外箕輪遺跡の成果をまとめた報告書です。対象となった外箕輪遺跡は、県・市指定史跡「八幡神社古墳」を包括する弥生時代から中近世の遺跡であります。今回の調査では、八幡神社古墳の周溝や古墳時代から中近世の遺構を確認しました。

本書が学術資料、教育資料として活用されるとともに、市民をはじめ多くの皆様の目にとまり、遺跡というものがごく身近にも存在しているのだということを認識していただく契機となり、埋蔵文化財の保護を推進することができれば幸いです。

結びに、ご指導・ご助言いただきました千葉県教育庁教育振興部文化財課、発掘調査・整理作業に従事した調査補助員の方々、ご協力いただいた地域の方々、関係者の皆様に対して、心から感謝の意を表します。

令和6年3月

君津市教育委員会  
教育長 粕谷 哲也

# 例 言

- 1 本書は、令和5年度調査実施の千葉県君津市外箕輪123番2ほかに所在する外箕輪遺跡Ⅻの成果を収録した、発掘調査報告書である。
- 2 調査は、千葉県教育委員会の指導のもと、君津市教育委員会が実施した。
- 3 発掘調査・整理作業期間は以下のとおりである。  
(確認調査) 令和6年3月4日～同年3月13日 258 m<sup>2</sup> / 2,450.9 m<sup>2</sup>  
(整理作業) 令和6年3月13日～同年3月22日
- 4 発掘調査は、矢野淳一、整理作業・原稿執筆は矢野、曾我真実子、編集は曾我が担当した。
- 5 発掘調査で使用した遺跡コードは、外箕輪遺跡：KT 047である。なお、遺物注記の際には、コードの次に調査地点を付した(例：KT 047 Ⅻ)。
- 6 遺構・遺物の縮尺は各実測図に明記した。方位は座標北であり、測量値は世界測地系による。
- 7 今回の調査に伴う遺物・図面・写真等の記録類は、君津市教育委員会にて保管する。
- 8 調査組織は下記のとおりである。  
《君津市教育委員会》  
教育長：粕谷哲也  
教育部長：丸 博幸  
生涯学習文化課長：塚越直美 文化振興担当主幹：當眞紀子 文化振興係長：中花彩乃  
主査(再)：矢野淳一 文化財主事：朝倉 唯 文化財主事：曾我真実子
- 9 発掘調査から本書の刊行にいたるまで、千葉県教育委員会をはじめとする関係諸機関の方々からご指導・ご協力をいただいた。記して感謝の意を表したい。

# 凡 例

- 1 本書で使用した地形図は、第1図 地形図「鹿野山」(1:25,000) 国土地理院発行、第2図 君津市地形図「E-5」「E-6」(1:2,500) 君津市発行である。

# 目 次

序 文・例 言・凡 例

第1章 はじめに…………… 1 第2章 調査成果…………… 7

# 挿図目次

第1図 周辺の遺跡(1/25,000)…………… 2 第4図 確認トレンチ配置図…………… 8  
第2図 外箕輪遺跡調査区位置図(1/2,000) …… 4 第5図 出土遺物実測図…………… 9  
第3図 外箕輪遺跡Ⅵ・Ⅻ、八幡神社古墳位置図  
及び基本土層図…………… 6

# 図版目次

図版1・2

# 第1章 はじめに

## 1 調査にいたる経緯

令和5年8月9日付けで、株式会社東京マルイより文化財保護法第93条に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」の提出があった。開発目的は宅地造成で、開発予定面積は6,014.74㎡である。開発区域は「周知の埋蔵文化財包蔵地内（外箕輪遺跡）」で、開発着手前に確認調査を実施する必要がある旨を事業者の説明した。また、開発予定範囲のうち3,563.84㎡は平成20年に調査を実施した外箕輪遺跡VIを含めた範囲であったため、今回の調査対象面積は2,450.9㎡となった。協議の結果、計画どおり事業を行うことになり、遺跡の規模及び性格を把握するための確認調査を実施することとした。確認調査は、令和6年3月4日から同年3月13日まで行った。

確認調査の結果、隣接する千葉県及び市の指定史跡である八幡神社古墳の周溝や溝跡、中世の土坑及びピットなどが検出されたため、事業者と君津市教育委員会生涯学習文化課とで再度協議を行い、埋蔵文化財を検出した範囲は現状保存する方針となった。なお、調査はすべて君津市教育委員会で行った。

## 2 地理的・歴史的環境（第1図）

外箕輪遺跡は、君津市外箕輪に所在し、JR君津駅の南東約3.5km地点にある。当遺跡は、房総丘陵に源を発して東京湾に注ぐ、小糸川下流域右岸の河岸段丘上に位置し、標高は16m前後である。当遺跡は、千葉県及び市の指定史跡である「八幡神社古墳（前方後円墳）」を含み、国道127号線をまたぐように遺跡範囲が括られている。

外箕輪遺跡周辺には数多くの遺跡が分布し、近年、発掘調査事例も増えてきている。遺跡を時期的に大別すると縄文時代の遺跡はわずかで、大半が弥生時代以降の遺跡である。小糸川対岸には、低地遺跡の38. 郡条里遺跡<sup>(1)</sup>や36. 常代遺跡<sup>(2)</sup>がある。郡条里遺跡では古代条里制と関係のある溝跡や水田跡を確認している。常代遺跡は弥生時代から中世までの複合遺跡であり、弥生時代中期の方形周溝墓群、古墳時代中・後期の集落跡、奈良・平安時代の掘立柱建物跡群などが調査され、弥生時代中期の河川跡からは多量の木製品が出土している。また、常代遺跡の南側には郡衙推定地である40. 郡遺跡<sup>(3)</sup>がある。

当遺跡の立地する段丘面上では、2. 八幡神社古墳<sup>(4)</sup>のほかQ. 法木作古墳群や49. 柰師古墳<sup>(5)</sup>などの小円墳が存在していた。北東側の台地上には、4. 道祖神裏古墳（前期・前方後方墳）<sup>(6)</sup>、短甲が出土したP. 八重原古墳群（中期・円墳）<sup>(7)</sup>、50. 星谷上古墳（後期・前方後円墳）<sup>(8)</sup>などの多くの古墳が集中している。集落遺跡としては、24. 泉遺跡<sup>(9)</sup>、20. 三直中郷遺跡<sup>(10)</sup>がある。また、11世紀から14世紀にかけての遺構（主に掘立柱建物跡）が外箕輪遺跡、泉遺跡、郡遺跡、常代遺跡、三直中郷遺跡で検出されており、小糸川中・下流域の低地部では、古墳時代から中世まで継続した居住域として、両岸で同様な土地利用が見て取れる。

註(1)『郡条里遺跡確認調査報告書』1988 君津市教育委員会



- |            |            |             |             |             |
|------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 外箕輪遺跡   | 2. 八幡神社古墳  | 3. 上村台遺跡    | 4. 道祖神裏古墳   | 5. 外箕輪上ノ台古墳 |
| ⑥ 馬木戸古墳    | 7. 畑沢遺跡    | 8. 馬木戸星谷上古墳 | 9. 三直A行人塚   | 10. 三直貝塚    |
| 11. 三直城跡   | 12. 蔵屋敷跡   | 13. 蔵屋敷塚    | 14. 天王台遺跡   | 15. 三直台古墳   |
| 16. 沖入塚    | 17. 沖入2号塚  | 18. 沖入遺跡    | ⑱ 沖入古墳      | 20. 三直中郷遺跡  |
| 21. 奥谷横穴   | 22. 柏木遺跡   | 23. 寺崎遺跡    | 24. 泉遺跡     | 25. 姥田遺跡    |
| 26. 神裏塚古墳  | 27. 熊野前古墳  | 28. 狐山古墳    | 29. 狐山岩跡    | 30. 川代台遺跡   |
| 31. 奥中谷塚   | 32. 常代神社古墳 | 33. 常代城跡    | 34. 浜子古墳    | 35. 浜子遺跡    |
| 36. 常代遺跡   | 37. 八幡権現塚  | 38. 郡条里遺跡   | 39. 郡西遺跡    | 40. 郡遺跡     |
| 41. 元秋葉台遺跡 | 42. 八幡東遺跡  | 43. 八幡西遺跡   | 44. 八幡前古墳   | 45. 貞元遺跡    |
| ④⑥ 貞元塚台古墳  | 47. 富吉遺跡   | 48. 埜田遺跡    | ④⑨ 柰師古墳     | ⑤⑩ 星谷上古墳    |
| Ⓐ 野馬木戸古墳群  | B. 三直B行人塚群 | C. 下新田古墳群   | Ⓓ 宇曾貝四ツ塚古墳群 | E. 八幡神社古墳群  |
| F. 奥中谷古墳群  | G. 六手中谷横穴群 | H. 常代谷田横穴群  | I. 浜子横穴群    | J. 浜子中谷横穴群  |
| K. 中谷古墳群   | L. 上荘台古墳群  | M. 上荘台塚群    | N. 元秋葉台横穴群  | O. 元秋葉台古墳群  |
| Ⓔ 八重原古墳群   | Ⓒ 法木作古墳群   |             |             |             |

※番号に○印のあるものは、すでに消滅

### 第1図 周辺の遺跡 (1 : 25,000)

『郡条里遺跡発掘調査報告書』1990 君津市教育委員会

『郡条里遺跡Ⅱ』1992 財団法人君津郡市文化財センター

『郡条里遺跡Ⅲ』1994 財団法人君津郡市文化財センター

(2) 『常代遺跡群確認調査報告書』1989 君津市教育委員会

『常代遺跡群』1996 財団法人君津郡市文化財センター

『常代遺跡Ⅱ』1998 財団法人君津郡市文化財センター

『国道127号 埋蔵文化財調査報告書—君津市常代遺跡六反免地区、郡条里遺跡、郡遺跡(2)、郡遺跡(3)、

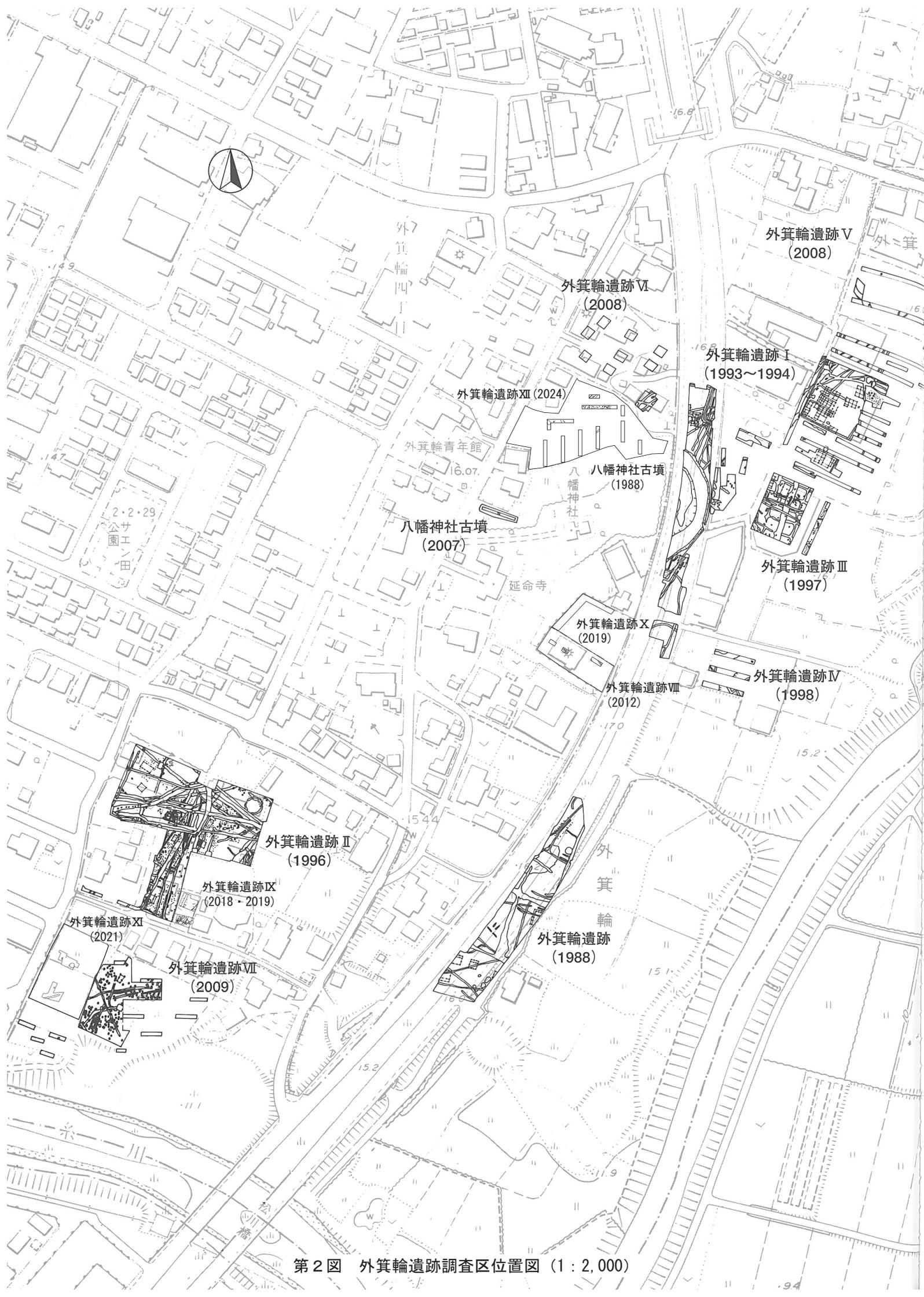
- 小山野遺跡一』2004 財団法人千葉県文化財センター ※郡条里遺跡、郡遺跡も掲載
- (3) 『郡遺跡確認調査報告書』1988 君津市教育委員会  
『君津市郡遺跡発掘調査報告書』1991 財団法人千葉県文化財センター  
『郡遺跡群発掘調査報告書Ⅰ』1994 君津市教育委員会  
『郡遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』1996 財団法人君津郡市文化財センター
- (4) 『君津市外箕輪遺跡・八幡神社古墳発掘調査報告書』1989 財団法人千葉県文化財センター
- (5) 大塚初重他 『笠師古墳調査報告書』1980 君津市教育委員会
- (6) 『千葉県君津市道祖神裏古墳調査概報』1976 千葉県教育委員会
- (7) 杉山晋作他 『古墳時代研究Ⅲ－千葉県君津市所在八重原1号墳・2号墳の調査－』1989 古墳時代研究会
- (8) 『星谷上古墳・野馬木戸古墳』1985 財団法人君津郡市文化財センター  
『星谷上古墳・畑沢遺跡（第2次調査）』1989 財団法人君津郡市文化財センター
- (9) 『泉遺跡発掘調査報告書Ⅰ』1996 財団法人君津郡市文化財センター  
『泉遺跡発掘調査報告書Ⅱ』1996 財団法人君津郡市文化財センター  
『平成12年度 君津市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』2001 君津市教育委員会  
『一君津市一泉遺跡Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ』2011 君津市教育委員会
- (10) 『東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書4－君津市三直中郷遺跡（沖田地区・中郷地区）－』  
2005 財団法人千葉県文化財センター  
『主要地方道君津鴨川線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告書－三直中郷遺跡 坂ノ下地区－』2003 財団  
法人千葉県文化財センター  
『三直中郷遺跡発掘調査報告書』2001 財団法人君津郡市文化財センター  
『三直中郷遺跡第2地点』2006 君津市教育委員会  
『三直中郷遺跡第3地点』2006 君津市教育委員会  
『平成25年度 君津市内遺跡発掘調査報告書』2014 君津市教育委員会  
『三直中郷遺跡第5地点』2022 君津市教育委員会

#### 参考文献

『千葉県埋蔵文化財分布地図（4）－君津・夷隅・安房地区（改訂版）－』2000 千葉県教育委員会

### 3 遺跡の概要（第2図）

外箕輪遺跡内では、1988年の調査を始まりに複数回調査が実施されている。外箕輪遺跡<sup>(1)</sup>では、奈良時代の建物跡や古墳時代前期から中世の溝跡などが、八幡神社古墳<sup>(2)</sup>では、後円部の周溝の一部と奈良・平安時代から中世にかけての掘立柱建物跡や水路などが検出された。外箕輪遺跡Ⅰ<sup>(3)</sup>では、中世の有力人物クラスの居館とそれに伴う区画溝などが検出され、貿易陶磁器が多く出土している。外箕輪遺跡Ⅱ<sup>(4)</sup>は、中世の一般農民層の集落であったとされ、条里地割に平行する溝跡や掘立柱建物跡、井戸跡が多数調査された。外箕輪遺跡Ⅲ<sup>(5)</sup>では、中世の掘立柱建物跡、溝跡、水田2面（奈良・平安時代1、中世1）



第2図 外箕輪遺跡調査区位置図 (1 : 2,000)

を、外箕輪遺跡Ⅳ<sup>(6)</sup>では、Ⅲで検出されたものと同時期の水田2面、古墳時代中期の溝跡が調査された。2007年の八幡神社古墳<sup>(7)</sup>の調査では、前方部前面の周溝の一部を調査し、周溝外縁の立ち上がりを確認した。また、外箕輪遺跡Ⅴ<sup>(8)</sup>では、弥生時代中期の溝跡が検出され、宮ノ台式期の壺が出土した。外箕輪遺跡Ⅵ<sup>(9)</sup>では、古墳時代後期の溝跡が検出されている。外箕輪遺跡Ⅶ<sup>(10)</sup>では、弥生時代後期から古墳時代前期の溝跡や古墳時代後期の竪穴住居跡、井戸跡が検出され、本遺跡内の小糸川寄りには、比較的時期の古い遺構が存在していた。外箕輪遺跡Ⅷ<sup>(11)</sup>では、東西に延びる溝跡が検出されている。外箕輪遺跡Ⅸ<sup>(12)</sup>では、S字甕の口縁部片が出土し、古墳時代前期の遺構を確認した。外箕輪遺跡Ⅸ(2)<sup>(12)</sup>では、弥生時代後期から古墳時代の遺構・遺物が見つかり、外箕輪遺跡Ⅶの様相と同様の結果となった。外箕輪遺跡Ⅹ<sup>(11)</sup>では、「八幡神社古墳」の前方部周溝の検出推定位置であったが、遺構は検出されなかった。外箕輪遺跡Ⅺ<sup>(13)</sup>では、奈良・平安時代の溝跡などを検出したが、遺構密度が低いことを確認した。

註 (1)(2)『君津市外箕輪遺跡・八幡神社古墳発掘調査報告書』1989 財団法人千葉県文化財センター

(3)『外箕輪遺跡発掘調査報告書』1994 財団法人君津郡市文化財センター

(4)『外箕輪遺跡Ⅱ』1997 財団法人君津郡市文化財センター

(5)『外箕輪遺跡Ⅲ』1997 財団法人君津郡市文化財センター

(6)『年報 NO. 17 -平成10年度-』1999 財団法人君津郡市文化財センター

(7)『平成19年度 君津市内遺跡発掘調査報告書』2008 君津市教育委員会

(8)『外箕輪遺跡Ⅴ』2008 君津市教育委員会

(9)『外箕輪遺跡Ⅵ』2008 君津市教育委員会

(10)『外箕輪遺跡Ⅶ』2010 君津市教育委員会

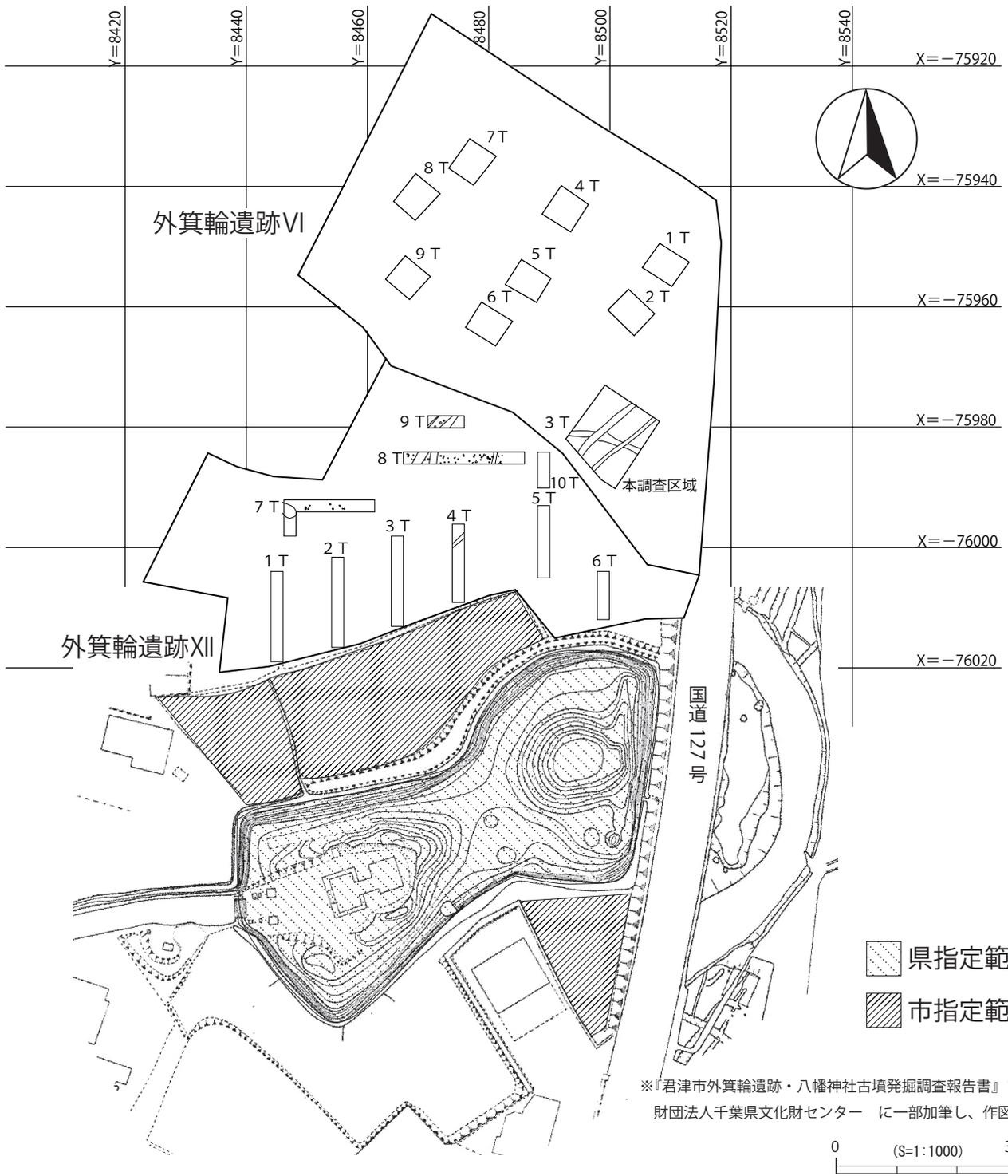
(11)外箕輪遺跡Ⅷ、Ⅹは、報告書を刊行していない。

(12)『平成30年度 君津市内遺跡発掘調査報告書』2019 君津市教育委員会

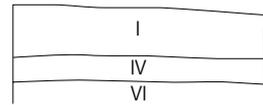
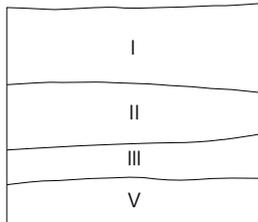
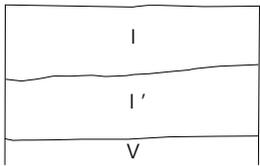
(13)『外箕輪遺跡Ⅺ』2021 君津市教育委員会

## 4 調査の方法（第3図）

確認調査は、対象地内における遺構の分布と種別を把握するために、対象地2,450.9㎡に10本のトレンチを設定した。調査区域の現状は宅地である。調査を実施するにあたり、公共座標に基づく基準点測量は専門業者が行い、この杭を用いて現地での平面図・断面図等の実測作業を行った。写真撮影はデジタルカメラを使用した。遺構確認面までの表土を重機で除去した後、鋤簾を用いて人力により遺構検出作業を行った。現地表面から確認面（Ⅴ・Ⅵ層）までは0.35～1.3mで、基本層序は6T東壁と7・8T北壁で確認した。地山層はⅤ層の青灰色シルト土及びⅥ層の黄褐色シルト土である。確認調査の結果、八幡神社古墳の周溝・古墳時代後期の溝跡、中世の土坑・ピットなどが検出されたため、事業者と君津市教育委員会生涯学習文化課で再度協議を行い、現状保存する方針となった。調査終了後は重機により排土を埋め戻して原状復帰し、現地作業を終了した。



16.5m. 6 T 16.5m. 7 T 16.5m. 8 T



- |            |                      |
|------------|----------------------|
| I 表土       | 攪乱含む。後世の碎石や盛土整地層     |
| I' 表土      | 攪乱。家屋の廃材等含む。         |
| II 黒灰色粘質土  | 石を少量含む。              |
| III 黒灰色粘質土 | 旧水田耕作土。暗青灰色粘質土を少量含む。 |
| IV 暗灰色粘質土  | 旧水田耕作土               |
| V 青灰色シルト土  | 地山                   |
| VI 黄褐色シルト土 | 地山                   |

0 (S=1:60) 1m

第3図 外箕輪遺跡VI・VII、八幡神社古墳位置図及び基本土層図

## 第2章 調査成果

### 1 検出した遺構と遺物（図版1～3）

#### 確認調査（第3～5図）

確認した遺構は八幡神社古墳の周溝1条・古墳時代後期溝跡3条、中世土坑1基・ピット54基、近世溝跡1条である。

- 1 T 遺構確認面までは1.3 mである。遺構は検出されなかった。
- 2 T 遺構確認面までは1.3 mである。遺構は検出されなかった。
- 3 T 遺構確認面までは0.85 mである。遺構は検出されなかった。
- 4 T 遺構確認面までは1.05 mである。古墳時代後期溝跡1条を検出した。
- 5 T 遺構確認面までは0.35 mである。遺構は検出されなかった。
- 6 T 遺構確認面までは0.95 mである。八幡神社古墳の周溝底面を検出した。しかし、周溝底面まで攪乱が続き、周溝覆土は検出されなかった。
- 7 T 遺構確認面までは1.15 mである。中世土坑1基・ピット10基を検出した。
- 8 T 遺構確認面までは0.5 mである。古墳時代後期溝跡2条、中世ピット41基、近世溝跡1条を検出した。東側の溝跡1条は、4 Tで検出した溝跡と同じ可能性がある。
- 9 T 遺構確認面までは0.5 mである。古墳時代後期溝跡1条、中世ピット3基、近世溝跡1条を検出した。
- 10 T 遺構確認面までは0.5 mである。遺構は検出されなかった。

#### 八幡神社古墳（第3・4図）

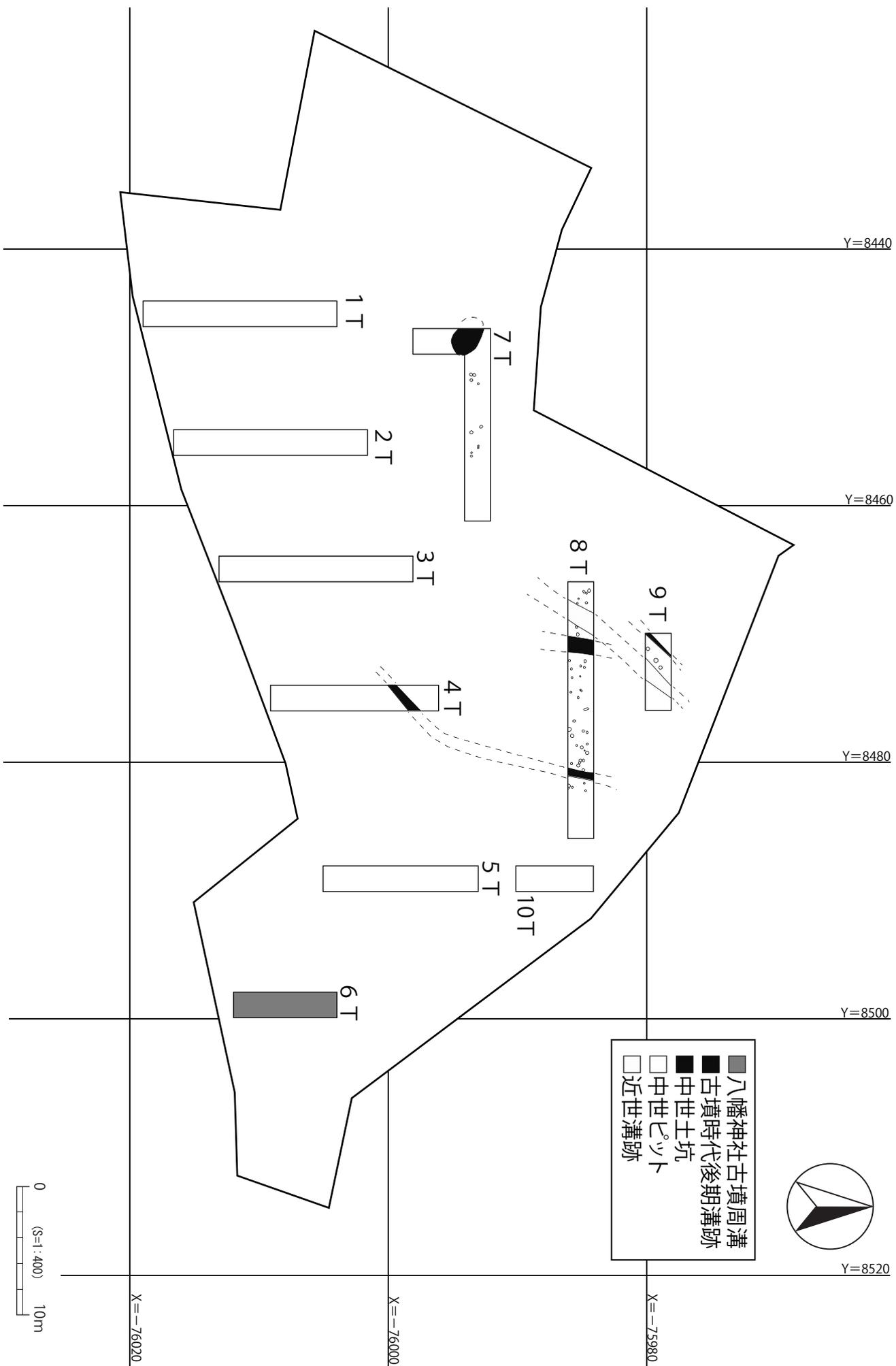
千葉県及び市の指定史跡である八幡神社古墳は、昭和63年（1988）、国道の拡幅工事に伴い、財団法人千葉県文化財センターにより、後円部の東側周溝部分を調査している。その際の墳丘計測値は、全長77 m、後円部径42.5 m、前方部幅38 m、高さは後円部5 m、前方部3 mである。検出された周溝の平面形は、楕形と考えられ、周溝を含めた全長は118 mと推定される。検出された周溝底面の標高値は、14.9～15.2 mである。

今回の調査では、推定周溝範囲内に6 Tを設定し、周溝の有無を確認した。その結果、後世の攪乱が激しく、周溝の覆土は確認できなかったが、底面と思われる面を確認した。標高値は15 m前後であり、昭和63年調査で検出した周溝の高さとほぼ同様である。周溝から遺物は出土しなかった。

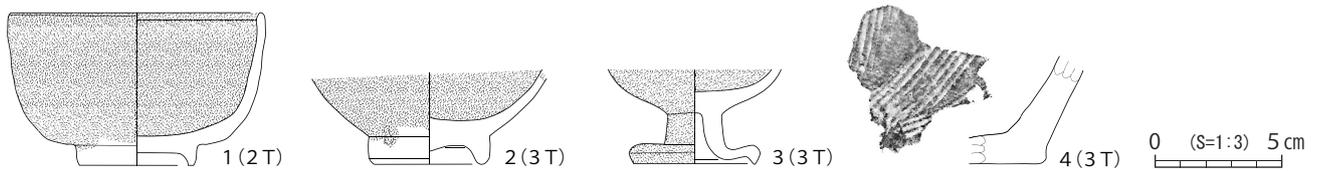
#### 出土遺物（第5図）

出土遺物の総量は少なく、近世以降の遺物のみであった。損傷が激しく掲載できなかった銅銭も4 Tから2点出土した。1は、2 Tの中ほどの地点で、確認面から10 cm程度の高さから出土した。また、2～4は、3点まとまって3 Tの中ほどの地点で、1とほぼ同様の高さで出土している。

1は、陶器の瀬戸・美濃系の碗で、口縁部から高台部1/4の遺存である。復元口径10.4 cm、復元底径4.6 cm、器高6.1 cm。内外面ともに灰釉、高台部は無釉。2は、陶器の瀬戸・美濃系の碗で、腰から高台部の



第4図 確認トレンチ配置図



第5図 出土遺物実測図

みの遺存である。底径4.6 cm、遺存高3.8 cm。内面灰釉。外面黒色の鉄釉、高台部は無釉。3は、陶器の瀬戸・美濃系の仏飯器で、坏部下方から脚部のみの遺存である。底径4.8 cm、遺存高3.8 cm。内外面ともに灰釉。脚部内面は無釉。4は、陶器の瀬戸・美濃系播鉢の底部片である。内外面ともに錆釉。

## 2 まとめ

今回の調査は、確認調査のみの実施であり、遺構に伴う出土遺物がないため、各遺構の性格までは把握することはできなかった。しかし、近隣での調査成果と同様の結果となった。また、八幡神社古墳の隣接地の調査であったため、周溝の形状や規模を確認できるようトレンチを設定した。その結果、6 Tでは確認面の上面まで攪乱が続いており、周溝の立ち上がりは確認できなかったが、八幡神社古墳北東側の周溝底面を検出した。

外箕輪遺跡では近年、小規模な調査が行われているが、点的な調査では、遺跡全体を考えることは困難である。しかし、個々の調査結果をしっかりと精査することで遺跡全体を考える上での一助となるであろう。





1. 調査前風景(東→)



2. 1 T (北→)



3. 6 T (北→)



4. 7 T (北東→)



5. 8 T (南東→)



6. 8 T 近景 (南東→)



7. トレンチ掘削状況全景 (西→)



8. 重機による1 T 掘削状況 (南→)

## 図版2



1. 調査終了（西→）



2. 4T作業風景（南東→）



3. 第5図1



4. 第5図2



5. 第5図3



6. 第5図4

# 報告書抄録

ふりがな	きみつし そとみのわいせきじゅうに							
書名	一君津市一 外箕輪遺跡Ⅻ							
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	矢野淳一 曾我真実子							
編集機関	君津市教育委員会							
所在地	〒299-1192 千葉県君津市久保2丁目13番1号							
発行年月日	西暦2024年(令和6年)3月29日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地 系北緯	世界測地系 東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
そとみのわいせき 外箕輪遺跡Ⅻ	ちばけんきみつしそとみの 千葉県君津市外箕 輪123番2ほか	12225	KT047	35° 18' 53"	139° 55' 34"	[確認] 2024年3月4日～ 2024年3月13日	258 /2,450.9 m <sup>2</sup>	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
外箕輪遺跡Ⅻ	集落跡、 城館跡、 古墳	古墳時代、 中世、近世	古墳周溝1条・古墳時代後期溝跡3条、 中世土坑1基・ピット54基、近世溝跡 1条		近世陶器、銭貨	八幡神社古墳北東側の周溝底面を 検出した。		

令和6年3月22日 印刷

令和6年3月29日 発行

一君津市一

## 外箕輪遺跡Ⅻ

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 株式会社東京マルイ  
君津市教育委員会  
君津市久保2丁目13番1号

印刷 有限会社アドメイクス  
千葉県木更津市清見台東2-19-16

